

# ときわ通信

文責；いわき市立湯本第二小学校長 小川幸一

## 子どもとの気持ちのよい関係を考える

＝ アドラー心理学に基づいたカウンセリング的対応 ＝

お子さんと生活する中で、親の思い通りに行動してくれず、いらいらしてつい怒ってしまう時はありませんか？私達教員もお恥ずかしいことではありますが同じような時があります。怒られた子どもたちは怖いので言う事を聞いたり、怒られる事に慣れてくると注意された事も気にしなくなり過ちを繰り返したりします。しかし、これらの事象の共通点は、子どもが受身であり、自分を変えるという意識につながっていないということです。

私達は、子ども達の主体的行動の変革を求め、先日、本校に勤務するカウンセラーの早川先生から子どもとの気持ちのよい関係を築くための一番の基本を学びました。

子ども達は、よく家の中で兄弟げんかをしたり、宿題をしなくて遊びほうけたりすることがあり、親を困らせます。アドラー心理学では、これらの行為を**不適切な行動**と呼んでいます。

**不適切な行動**とは、①自他を傷つけるような行動、②物を破壊するような行動、③決められたルールを破ること、④家族や社会の調和（仲良くする）を乱す行為、の4つに限られます。この4点については叱ってもよいこととされていますが、叱っても不適切な行動を止めないことがあります。

子どもが不適切な行動を止めないのは次の時です。

- ① その行動が不適切な行動であることを子どもが知らない時
- ② その行動が不適切であることは知っているがどうすれば適切な行動ができるかを知らない時
- ③ その行動が不適切な行動であることは知っており、適切な行動も知っているが、適切な行動をしても望む結果が得られない時
- ④ 不適切な行動から望む結果を得ている時

子どもを叱ったり、不適切な行動を正すためにはどうすればよいか？

まず、その行動がどのような状況で起きるのかをよく観察し上記の4つの場合のどれに当てはまるのかを探ります。次に、同じ状況での、より適切な行動の仕方を子どもと一緒に考えます。さらに、不適切な行動には注目を与えなかったり、適切な行動にはプラスの注目を与えたりします。注目を与えないとは、分かっているても声をかけなかったり、わがままでおねだりをされた時に別の話をして要求をかわしたりすることです。プラスの注目とは褒めたりおだてたりすることです。

すぐに不適切な行動が改善されるというわけではありません。日頃の親子の温かな関係が基礎となります。親の子どもの見方、接し方を改善するために、次のような日記をつけてみることも有効です。これを1週間続けると、親自身に次のような変化があるようです。

月		日	
叱ったこと	子どもの反応	ほめたこと	子どもの反応

- ① 叱ることが少なくなる。
- ② 「ありがとう」という言葉が増える。
- ③ 言葉遣いがよくなる。

私達教員も子どもとのよい関係の下で教育を進めていきます。おうちの方々もこの機会にお子さんとの接し方を見直してみてください。

## ～ 3月の行事予定 ～

<p>1日(水) 認定会                  2日(木) 6年生ありがとう集会                            地区なかよし会                  6日(月) 卒業式会場作成 5年以外5校時                  7日(火) 全学年5校時限(～10日)                  10日(金) 防災教育                  16日(木) 修・卒業証書授与式予行</p>	<p>17日(金) 美化活動                  20日(月) 春分の日                  23日(木) 修・卒業証書授与式 6年生登校 8:55                            1～3年下校 9:30 4～6年下校 12:00                  24日(金) 中学校入学刈エンテーション 春休み(～4月5日)                  27日(月) 教室移動 4・5年生登校 8:30                  31日(金) 離任式(8時00分まで集団登校)</p>
--	--

### 新しいエプロンで給食もりもり

バザーでの収益金とPTA設備費から、1・2・3年生用の新しいエプロンを購入しました。真っ白なエプロンで給食の準備をする姿にもどことなくうきうき感が漂っています。1年生も自分できちんと身支度を整え給食当番を張り切っています。



たくさん給食を食べてほしいと願っています。

### 幼稚園児との給食交流会

21日(火)に、湯本第二幼稚園年長児3名と5年生との給食交流会を行いました。幼稚園児には早く小学校生活に慣れることができるように



するためと、5年生にとっては最高学年になる自覚を高めることを目的として毎年行っています。

今年は、年長児が3名しかいないので5年生の二つのグループと一緒にいただきました。園児は緊張のあまりなかなかお話もできないようでしたが、別れる時は笑顔になって「楽しかった」「おいしかった」という言葉を口々にしていました。

5年生も次のように感想を書いています。

- S 君 ; 今日の交流会で園児に分かりやすく説明することが大変だったので、6年生では分かりやすい説明を心がけたい。
- S A 君 ; 6年生になったら小さい子どもと触れ合おうと思った。
- I 君 ; みんなと仲良くなることができ湯本二小に来る子が一人いるから楽しみ。最高学年の自覚をもって下級生の面倒をきちんと見ようと思う。
- K 君 ; 交流については楽しく食えることができた。6年生になったら1年生の見本になれるようにする。
- W 君 ; 最初は幼稚園生は緊張していたけどみんなで協力して行動したので幼稚園生もしゃべってくれた。協力は大事だと思った。1年生にやさしくできる6年生になりたい。
- O さん ; 幼稚園生に話しかけたら少しうれしそうにしてくれた。6年生ではみんなのお手本になれるようにがんばる。
- M さん ; 幼稚園生は反対の言葉を知っていたり計算も少しできてすごいと思った。6年生になったら下の学年を引っ張っていけるようにしたい。
- I さん ; 幼稚園生はみんなかわいくて、みひろちゃん、あゆむくん、しゅうやくんのことを知れました。6年生になったら1年生にやさしく接したいです。
- Y さん ; 交流を通して、下級生のお手本になれるような6年生になりたいと思いました。

### ベルマークでハンディ掃除機を購入

PTA教養委員会、ボランティア委員会で収集してきたベルマークによって、充電式ハンディ掃除機を6台購入しました。おかげで清掃活動がより効率的になり、教室も一層綺麗です。ありがとうございました。



### 心ひとつに長なわ記録会に挑戦

休み時間や体育の時間を使って、長なわ跳びの練習をしています。練習を重ねるごとに1分間に飛べる回数が増えてきました。お互いに声を掛け合って飛ぶ姿に強い連帯感が感じられます。高学年は100回の大台に乗ったのは驚きです。ますます楽しみです。



	1年	2年	3年
長なわ 跳び記録	22	56	65
	4年	5年	6年
	96	103	100
			アカヤ 33